

「七城中学校だより」 一步前進 文責 野村宗生

七城中学校だより（七城中：校長室）第10号 R4.9.26
学校だよりは、七城中ホームページにも掲載しています

○全国学力学習状況調査の結果から 七城中の状況は

毎年3年生を対象に年度当初実施される、全国学力学習状況調査の結果が出ました。今年の調査教科は、国語及び数学に理科が追加されました。国語は概ね熊本県の平均正答率と同等になりましたが、数学及び理科については下回る結果となりました。国語は、漢字の書き取りや文章表現技法等についてはよい傾向が見られましたが、物語小説の登場人物の行動や心情を読み取る力等については課題が見られました。数学では、計算問題、図形、データの活用等については他の問題に比べ理解できている傾向が見られました。しかし、関数について特に課題が見られます。理科については、物理分野においては概ね理解している状況が見られますが、化学分野で課題が見られるようです。3年生では、これらの結果を踏まえ、授業での取組を中心に、地域未来塾等を活用しながら課題の克服を行っています。また、12月には、1・2年生でも熊本県の学力調査が実施されます。学力向上に向けて、計画的な対応を行って参ります。

今回も、学力調査とともに生活実態調査が併せて行われました。それによると、昨年度の3年生と同じ傾向が見られ、「今住んでいる地域の行事へ参加していますか」「朝食をきちんと食べていますか」の質問では、高い数値が示され、本校の重点取組事項を反映した結果となりました。保護者や地域の方々から連携協力をしていただいていることがわかります。本当に、ありがとうございます。また、「ICT機器を、勉強のために使っていますか」の問いでは、全国及び県と比較し活用時間が長い傾向が見られたほか、「一日あたりのゲームやSNS・動画視聴」についても全国や県に比べて低い状況にあり、改善の兆しがうかがえました。しかし、課題もあります。「将来の夢や目標を持っているか」「学校授業以外での学習時間」については、昨年度に引き続き課題となっており継続した取組が必要です。夢や目標の大切さについては、これまでも取り組んでいますが、継続して取り組むことで、学習意欲を高め、自ら学ぶ子供たちを育てていきます。

○2年生 講師を迎え、地域の魅力をテーマに学習

9月20日（金）に、2年生が、社会科の授業の一環で、木内香織さんを講師に迎え「地域の魅力」をテーマに学習しました。木内さんは、昨年度まで菊池市地域おこし協力隊で地域活性化に貢献してこられました。講演では、やわらかい心と頭で発想していくことや地域の夢をみんなで



叶えることの大切さ等についての話があり、地域への関心を深めることができました。子供たちからも、「菊池に住んでいるが、知らないことが多い。もっと地域について勉強したい」（2年1組 長塩梨子さん）、「菊池を住みよい街にするために、話していただいた課題を解決していきたい」（2年1組 坂井天煌さん）等の感想があり、地域を見つめるよい機会となりました。



○9月30日（金）は、授業参観・PTA 親子教育講演会・学級懇談会

9月30日（金）は、授業参観・PTA 親子教育講演会・学級懇談会です。例年この会は、11月に実施していましたが、今年度は研究発表会を11月に行うため、前倒しの実施となります。学期末考査も終了し、前期のまとめの時期を迎えています。子供たちの学校での様子をご覧いただくことで、ご家庭と更に連携した取組を行いたいと思っています。また、当日は、言語聴覚士の園田一博さんに来校いただき、「吃音と共に生きる」というテーマで講演をいただきます。学校と家庭が連携し取り組んでいく貴重な機会となります。是非ご参加ください。お待ちしております。